

バリウム検査では判りにくい、胃検査のオプション検査 **鎮静剤を使用します**

## 上部消化管内視鏡検査(経口 **鎮静剤使用**)

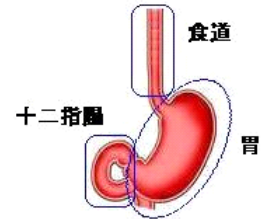
どんな検査？

食道、胃、十二指腸の状態がわかります

上部消化管内視鏡検査とは、口から直径1cm程度の柔らかい管の先にカメラの付いた内視鏡を挿入し、食道、胃、十二指腸を観察する検査です。いわゆる「胃カメラ」の検査です。鎮静剤使用（以下セデーション）をします。

潰瘍、炎症、腫瘍、ポリープなどを診断するために行います。

内視鏡による検査部位



### 【検査手順】

- 検査室内で右腕に血圧計を装着し、鎮静剤を使用して安全に検査するため、点滴のルートを確認します（左腕の静脈内に針を留置します）。また、酸素飽和度を調べるために指先に機器を取り付けます。
- 咽頭をキシロカインで局所麻酔します。
- 精神的な緊張を抑え、眠気を起こさせるため、鎮静剤を注射し、検査を開始します。

副作用として「血圧低下」、「呼吸抑制」が出現した場合は、注射や酸素吸入を行います。

薬は通常1～2分で効果が現れます。薬の作用は個人差があるため、まれに効果が感じられない方、または、効果より副作用が強く表れる場合があります。



### 【検査ができない方】（以下の項目に1つでも該当する場合は鎮静剤を使用しての検査はできません。）

- 抗凝固剤（血液をサラサラにする薬）を飲まれている方
- 生検（病変を疑う場合の組織検査）を希望されない場合
- キシロカインアレルギーのある方
- 高血圧症状のコントロールが不良の方
- 血管が細く点滴注射が困難な方（鎮静剤の副作用に対応困難のため）
- 現在、「呼吸器疾患治療中の方（鎮静剤の副作用に対応困難のため）」、「閉塞性隅角緑内障の方」、「重症筋無力症の方」、「てんかんの薬を飲まれている方」
- 年齢が75歳以上の方で帰宅時に付き添い（または、タクシー）がいらっしゃる方（鎮静剤の副作用に対応困難なため）
- 検査の日（検査後も含めて）に乗り物（自転車、バイク、自動車）を運転する予定のある方。
- 鎮静剤を使用すると、まれに脱抑制（薬により脳の抑制機能が失われて、検査中に暴れる）及び「血圧低下」、「呼吸抑制」となることがあります。この場合、医師の判断により途中で検査を中止することがあります。その場合、検査結果が得られなくても薬品・材料費2,200円はかかります。

### 1 料金

¥14,300円（消費税込）

### 2 申込方法

検査日の2週間前までにお電話でお申込ください。ただし先着順で**1日につき2名程度**とさせていただきます。

実施曜日 男性：月、火、木 女性：水曜日

**当日の体調によっては、検査ができない場合があります。**

### 3 その他

ご予約いただきますと、「説明書」、「問診票」、「同意書」をお送りいたします。良くお読みになりご記入いただいて、当日ご持参ください。

不明な点は右記へお問い合わせください。

東京通信病院 人間ドックセンター

〒102-8798 千代田区富士見2-14-23

電話 03(5214)7167、7055